挑　戦

小美玉市立小川南中学校　学校だより
NO．３０　令和3年１２月２３日　発行

教育目標　(み)自ら学び　(な)仲間とともに　(み)未来を切り拓く生徒の育成
キーワード　３つのCha　～　Chance　Challenge　Change　～

２学期の反省

２年　井野　琳香

私は，２学期に反省したいことがいくつかあります。

まずは，新人戦です。私はテニス部に所属していて，最後の新人戦に前衛の１番手として挑みました。１日目の団体戦では，１試合目からよい試合ができませんでした。練習してきたことを生かせず，多くのミスをしてしまいました。リーグ戦では，最下位になってしまいましたが，決勝トーナメントでは気持ちを切り換えて試合をしました。自分のできることをして，準決勝まで進むことができましたが，そこで負けてしまいました。３位決定戦では大事な場面でミスが出てしまい，何度も危ない状況になりました。それでもなんとか粘り，勝つことができました。私は新人戦を通して，前衛の１番手としての自覚が足りてないと反省し，今後は前衛の１番手として堂々としたプレーをしたいと思いました。

次に駅伝です。今年の駅伝は女子は６人しか参加していませんでした。私はその中でも本番でも選手として走れるかギリギリのラインだったので，練習中諦めそうになったとき，何度も自分に喝を入れて練習を乗り越えました。それでも中央地区では走ることができず，悔しい思いをしました。それからの県大会に向けての練習には，県大会で走れるチャンスだと思い，一生懸命に取り組みました。その結果，県大会で走ることができました。たった６人だけの練習でしたが，お互いに励まし合い唯一無二の経験ができました。

最後にテストです。私は提出物を計画的に進める，という目標を毎回立てるのですが，２学期の間もこの目標を達成することができませんでした。振り返ってみると，それは提出物をする時間を積極的に作ることができなかったからだと気付きました。提出物が計画的にできなかったので，テスト前に復習を頑張っても，全教科で納得のいく点数をとることができませんでした。提出物を出すことはできたので，さらに余裕をもった生活を送るために計画的に進めていきたいです。頑張ったことは，各教科で学習したことを覚えることです。忘れないように何度も繰り返し練習しました。そのおかげで，理解できることが増えてきました。

２学期中に学んだことや反省したことを生かして，３学期を過ごし，受験生に向けていいスタートを切りたいです。

２学期を振り返って

３年　沼田　樹

中学校生活ラストの１年も，３か月をきり，いよいよ卒業へと近づいてきました。私自身，１日１日を大切にこの２学期をすごしてきました。その中でも特に思い出に残っていることと頑張ったことが３つあります。

１つ目は，校外学習です。コロナウイルスの影響で昨年度の校外学習が中止になり，本来どおりの行事ができなくなってしまった中で，日帰りではありましたが，飛行機を使ってのＵＳＪへの校外学習を行えたことは本当に嬉しかったです。私は，みんなのためによりよい校外学習にしたいと思い，校外学習実行委員になりました。しおり作りや代表となってみんなをまとめていくことは大変でしたが，当日のみんなの笑顔はすごく輝いていて「実行委員をやってよかったな」と心から思いました。

２つ目は，生徒会活動です。私は１年生の頃に本部役員となり，２年生の頃からは生徒会副会長として２年間活動してきました。始めは緊張してばかりで何もできず，先輩についていくだけで精一杯でした。それから１年が経ち，自分たちが先頭となって学校を動かしていくことは不安しかなかったけれど，生徒会のみんなと協力しながら頑張ってきて，最後の仕事である南中祭をよりよいものにできて本当によかったです。そして生徒会を通して大きく成長できたこの経験を忘れずに生活へ生かしていきたいです。

３つ目は，受験勉強です。私は夏休みを活用してテストでいい点数がとれるようにたくさん勉強しました。しかし，夏休み明けのテストの点数は過去最低で本当に悔しかったことを覚えています。その時，「努力しても報われないんだ」と諦めかけたけど，「自分に負けたくない」そんな一心で２学期は必死に勉強しました。すると，苦手だった社会は得意分野となり，高得点をねらえています。だからこれからも，諦めず努力し続けることが大事だなと実感しました。いよいよ冬休みに入り，冬休みが明けると私立高校の受験が始まります。志望校の合格率を上げるために冬休み精一杯頑張りたいと思います。

そして，私立と県立のどちらも合格できるように，３学期も１日１日努力していきたいと思います。